

再生不良性貧血の症例においては、白血球数、血小板数とで相関し、3型に亜分類することができた。また biopsy との比較でも一致を示していた。また Hodgkin 病の Staging でも骨髄シンチグラフィは有用であった。ただ白血病の症例においては、 $^{111}\text{InCl}$ による骨髄シンチグラフィの臨床的有用性は確認できなかった。

28. 当院における甲状腺癌の ^{131}I 内用療法の現況

川瀬 良郎 瀬尾 裕之 日野 一郎
 佐藤 功 児島 完治 高島 均
 大川 元臣 玉井 豊理 田辺 正忠
 (香川医大・放)
 宮内 明 前田 正純 (同・二外)

分化型甲状腺癌に対するヨード内用療法の有用性が諸施設から報告されている。当院でも昭和59年11月よりヨード内用療法を開始した。方法は Bierwalts らに準じて 3 mCi で取り込みを確認後、残遺甲状腺に対して 100 mCi、肺転移に対して 150 mCi、骨転移に対しては 200 mCi が投与されている。現在までに 9 症例と少なく、また経過観察期間も短い。肺や骨に転移のある数例で効果を認めている。有効例として、胸部 X 線写真で肺野に多発性小結節影を呈し、 ^{131}I 3 mCi の取り込みがあり、内用療法後 3 か月の胸部写真で異常影の消失した症例を供覧する。

29. $^{99\text{m}}\text{TcO}_4^-$ を用いた甲状腺シンチグラムの検討

伊藤 信昭 佐々木正博 向田 邦俊
 中西 敏夫 (広島大・放部)
 小山 矩 勝田 静知 (同・放)

過去 2 年間頸部精査の目的で、 $^{99\text{m}}\text{TcO}_4^-$ を用いて行った 108 例の甲状腺シンチグラムについて検討した。

その結果、(1) 甲状腺腫大像例は 8 例で、すべて甲状腺が触知できたが慢性甲状腺腫であった。(2) 陰影欠損像例の、40 例中 38 例が結節性甲状腺腫であった。しかし、良性と悪性腫瘍との間で陰影欠損像の出現率に差異を認めなかった。(3) 甲状腺内の異常集積像例は 4 例認めたが、甲状腺疾患との関連は明らかにできなかった。しかし、甲状腺外の異常集積像症例の 3 例は、いずれも異所性甲状腺例であった。(4) 甲状腺描画不良像例の 11 例の

中、4 例は甲状腺機能の軽度低下例、2 例は悪急性甲状腺炎初期例であった。しかし、2 例は甲状腺機能正常の乳頭腺癌および縦隔腫瘍例であった。

以上より、甲状腺疾患のスクリーニングには被曝線量が少なく、廉価で前処置の不要な $^{99\text{m}}\text{TcO}_4^-$ は良い核種と考えられる。

30. $^{201}\text{Tl-Cl}$ による甲状腺癌の転移の検出

永井 清久 福永 仁夫 大塚 信昭
 曾根 照喜 村中 明 古川 高子
 柳元 真一 友光 達志 森田 陸司
 (川崎医大・核)
 原田 種一 (同・内分泌外)

甲状腺癌の転移に対する $^{201}\text{Tl-Cl}$ シンチグラフィの有効性を検討した。甲状腺癌 17 症例(うち転移を認めたもの 12 例)に $^{201}\text{Tl-Cl}$ 2 mCi を静注し、直後より 20 分後までの early scan を施行した。転移を認めた 12 例中の 8 例の転移巣に Tl-201 の集積を認めた。転移を認めなかった 5 例ではなんら異常集積は認めなかった。組織別では乳頭腺癌の転移 8 例中の 6 例に、ろ胞腺癌の転移 1 例中の 1 例に Tl-201 の集積を認めたが、未分化癌の 1 例には集積しなかった。転移の部位別では、骨転移は 2 例中の 2 例に、肺転移では 4 例中の 3 例に、リンパ節転移では 9 例中の 6 例に Tl-201 の集積を認めた。以上のように Tl-201 の甲状腺癌転移に対する成績は良好であり、縦隔部などの他の方法では診断しにくい部位では非常に有力な診断手段と考えられる。またヨードと異なり甲状腺の全摘をせずとも良好な画像が得られ、亜全摘後の follow-up にも有用である等の利点もあり、甲状腺癌の転移に適した核種であることが示された。

31. 甲状腺腫瘍におけるタリウムシンチグラフィの有用性について

佐藤 伸夫 森本 節夫 上田 裕之
 中村 哲也 平木 祥夫 青野 要
 (岡山大・放)

^{131}I または $^{99\text{m}}\text{Tc}$ によるシンチグラフィで欠損像として描出された乳頭腺癌 7 例、ろ胞腺癌 7 例、悪性リンパ腫 1 例、腺腫 23 例、のう胞 3 例について ^{201}Tl シンチグ